

《今朝の聖書から》

『ルカによる福音書』3：1～14が開かれます。テーマは洗礼です。私たちの教会は二つの sacrament を守っています。カトリック教会は、七つの sacrament を守りますが、私たちの教会は、それを行なうことによって、神様を間近に見ることが出来るものとして、洗礼と聖餐を行ないます。この二つは信仰者にとって価値のあるもので、信仰について知らない人にとっては、パンとぶどう酒は、どんな言葉が付け加えられても、パンとぶどう酒でしかありません。未信者に聖餐に与ることを認めていない教会では、信仰がなければ、聖餐に何の価値を認めることが出来ないから、その人達も洗礼を受けたクリスチャンとなることを願って、“もったいないから与えない”というよりも“受けることに意味がない”のだと教えています。洗礼のしるし（効果）についてみてみましょう。ここで欠かすことの出来ない言葉が“信仰”です。洗礼の直接の効果は“新生ときよめ”でしょう。そして最終の目的は“救いと永遠の命”です。しかし、ここに、誰でも洗礼を受けた人は救われるということを行わなければならないのですが、“洗礼の客観的な効果は信仰によって受け取られなければ、効果にならない”のです。私たちの逢うあるタイプの人“私は信仰を持っているから、教会出席をしなくても、洗礼を受けなくても神様のことは判っている”と言います。使徒行伝22：16をみましょう。

“そこで今、なんのためらうことがあろうか。すぐ立って、み名をとなえてバプテスマを受け、あなたの罪を洗い落しなさい”とあります。このように聖書と教会は教えています。今日の聖書箇所、ルカ3章8節に“だから、悔改めにふさわしい実を結べ。自分たちの父にはアブラハムがあるなどと、心の中で思ってもみるな。おまえたちに言うておく。神はこれらの石ころからでも、アブラハムの子を起すことができるのだ。”とあります。もし“ぼくのお父さんは偉いんだぞ”と思った人は“わたしの父はアブラハム”と言っているのです。洗礼の効果を持続させる教会生活をおくりましょう。神様の恵みの契約のしるし、洗礼を思い起こすたびに、御霊の力を得るのです。

週報

2006年 11月 12日



主の業に励もう コリント15:58

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル商会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎0543-45-4070 E-Mail grace@big.jp

牧師 村上定幸